

2012 年度 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	文学部	身分	教授
氏名	縄田 雄二		
NAME	Yuji Nawata		

1. 研究課題

(和文) 日独比較文化史

(英文) Comparing German and Japanese Cultural Histories

2. 研究期間

2 年間

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度)

(和文)

日独の文化史の比較を、東アジアとヨーロッパの文化史の比較という大きな枠組みを意識しつつ、行なった。近年ドイツ語圏で文化学 (Kulturwissenschaft) が発展を遂げたことを背景とし、文化学の比較文化への応用を図った。最終的に理論面での成果を挙げることを目指した。

明確になったのは、日独比較文化史が置かれた大きな文脈は、地球規模の文化史であるということ、従って日独比較文化史は、グローバル文化史の一部としてこそ、よく分析記述され得るということである。その分析記述に文化学の手法が有効であることも確かめられた。

文化史の深層を明るみに出す文化学と、比較文学・比較文化と、歴史学の一部として発展してきたグローバル史 (global history) との三者が接するところに、広大な研究領域が開けていることが明らかになった。

今日、ドイツ語圏における人文科学の作業言語、成果発表言語において、英語の比重が高まっている。この現象と、日独比較をグローバルな枠組みのなかで行う本研究の内容が重なった。日独比較も日本語、ドイツ語のみならず、地球規模で理解される英語によっても、研究成果を発表すべきではないか、と思い至ったのである。日独比較文化の領域での今までの私の研究成果を、個別に或いは包括的に、英語でも公にすることが、新たな目標として浮かび上がり、その作業も進めた。

(英文)

I compare German and Japanese cultural histories in the larger context of Eurasian cultural history. The results reveal that the theories of German Kulturwissenschaft (cultural studies) can be effectively applied in comparing cultures at the global level.

4. おもな発表論文等（予定を含む）

<p>【学术论文】（著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
<p>【学会発表】（発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
<p>【図書】（著者名、出版社名、書名、刊行年）</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
<p>【その他】（知的財産権、ニュースリリース等）</p> <p>講演「世界文学としての有三戯曲」（三鷹市山本有三記念館・三鷹ネットワーク大学共催、 2013年2月3日三鷹ネットワーク大学にて）</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>